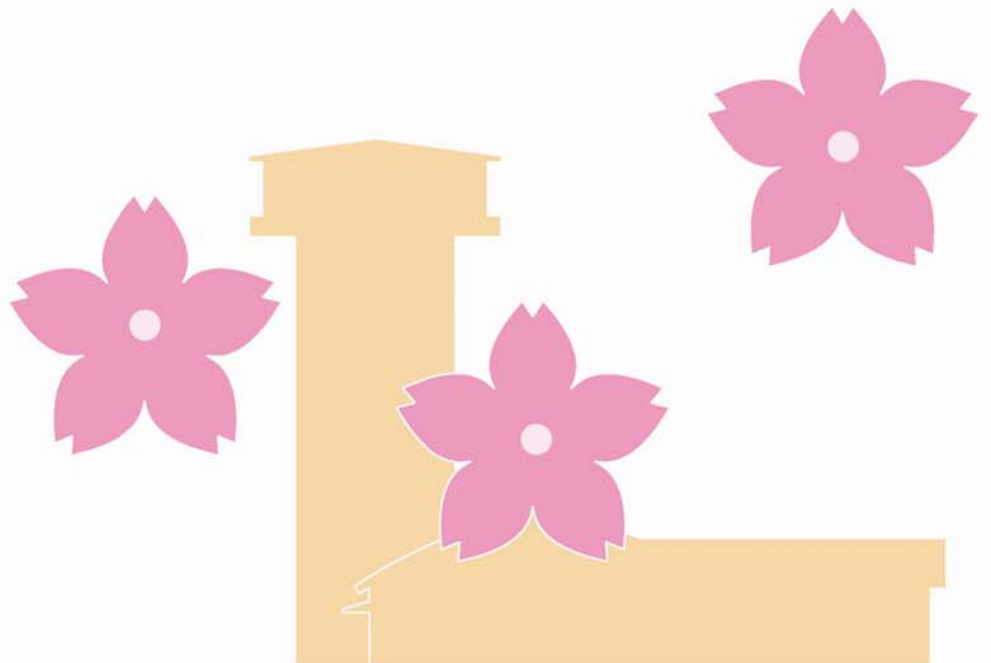


平成27年度淀川河川公園  
上流域地域協議会  
参考資料-1

# PROJECT SANSEN



# 淀川三川合流域拠点施設の整備

## 1. 施設整備の基本的考え方

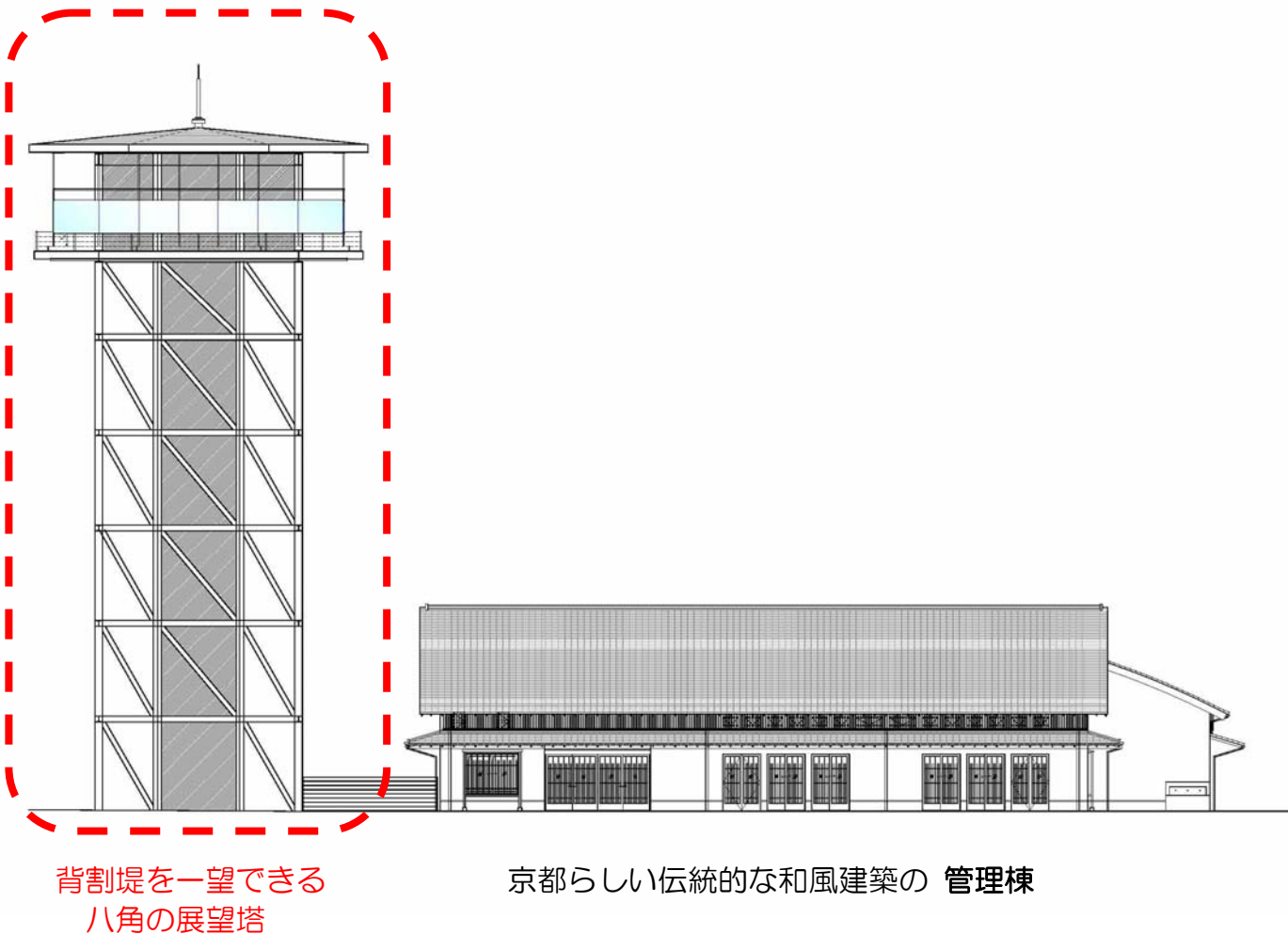
○淀川三川合流域の景観と調和した施設整備のあり方として、以下の基本的考え方を三川合流域拠点施設検討委員会にて確認

- ◇地域交流の玄関口となる景観：三川のシンボルとなる展望塔
- ◇歴史を想起させる景観：京都らしい伝統的な和の木造建築の管理棟
- ◇三川の景観：各方面を一望でき周辺の景観に添えるデザイン
- ◇ランニングを含めたコストへの配慮：建築のシンプルさを追求したデザイン

## 2. 展望塔の設計について

### (1) デザインコンセプト

- 地域の歴史資源である八幡市八角堂・御幸橋親柱から『平面形状に八角形』を採用。
- 桂・宇治・木津の三つの川と背割堤を一望できる『三川と桜を望める高さ』を採用



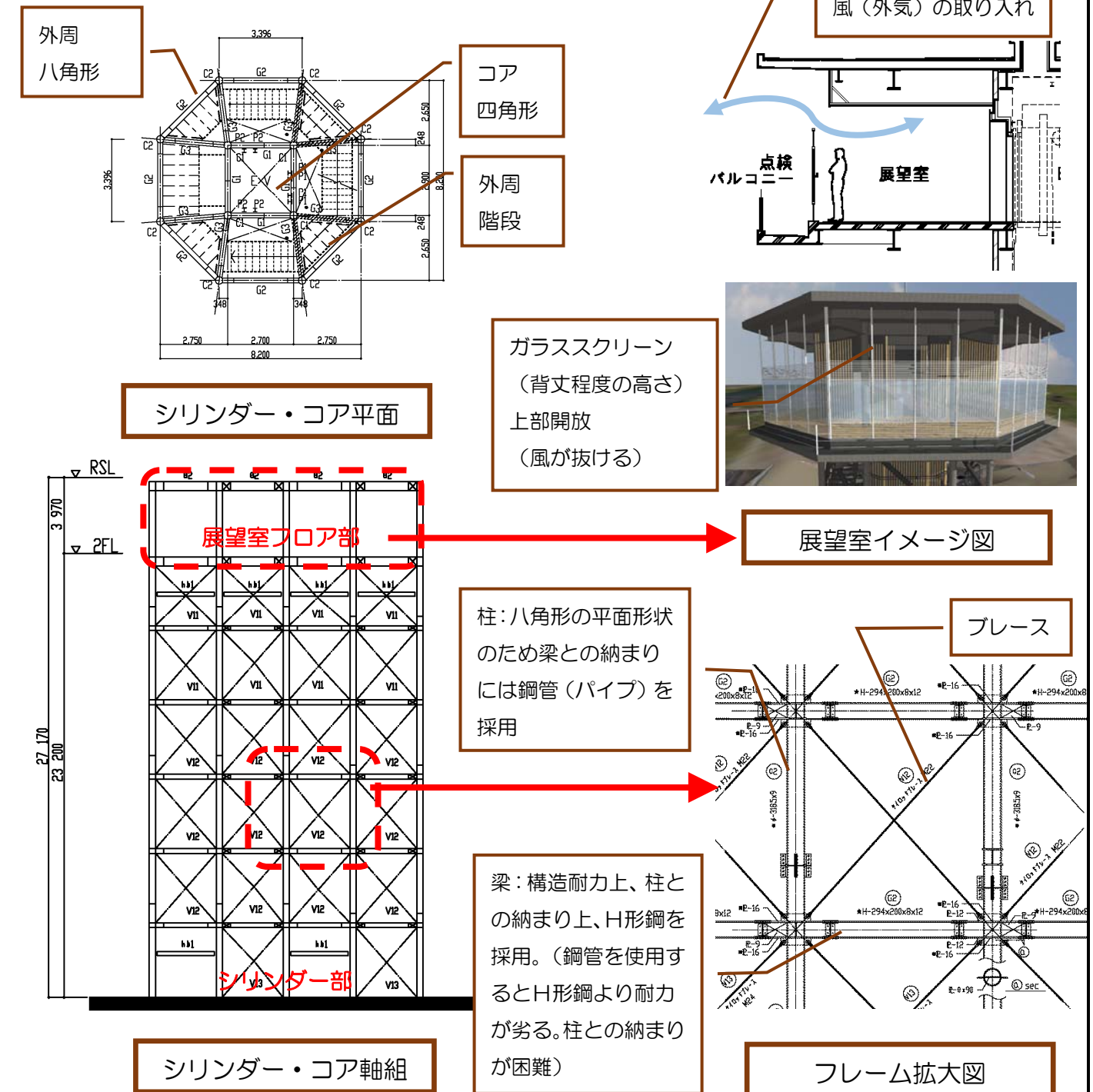
## (2) 構造設計について

○三川に吹く自然の風が通り抜けるとともに、管理上のランニングコストへの配慮から空調が不要となる鉄骨構造を採用。

### 展望塔 構造基本事項

- 鉄骨造とする
- 平面形状は八角形とする
- 軸組形状は7層の梁軸組とする

内部は四角形のコア（エレベータ）、外周は八角形のシリンダー・階段で構成し、コア・シリンダー共に、柱・梁・ブレース（斜め材）を用いたラーメン構造により架構を形成





(3) 意匠設計からの提案

○淀川三川合流域の展望塔の意匠設計は、化粧材（鉄板等の鋼材や木材等）を採用した大胆な形状ではなく、**建築施設の機能美を追究した構造フレームのみによるシンプルなラインを魅せる形態**を採用。



「背割り堤から」

【手法】

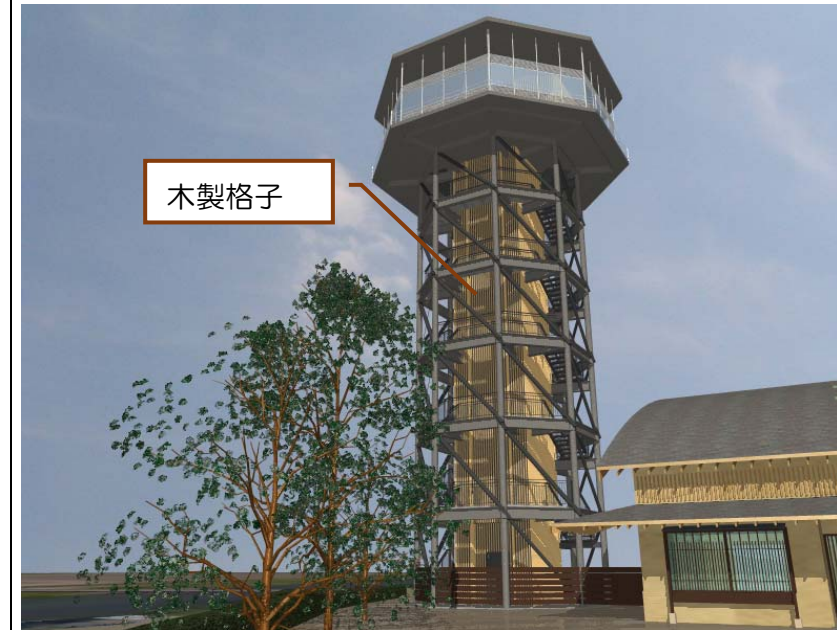
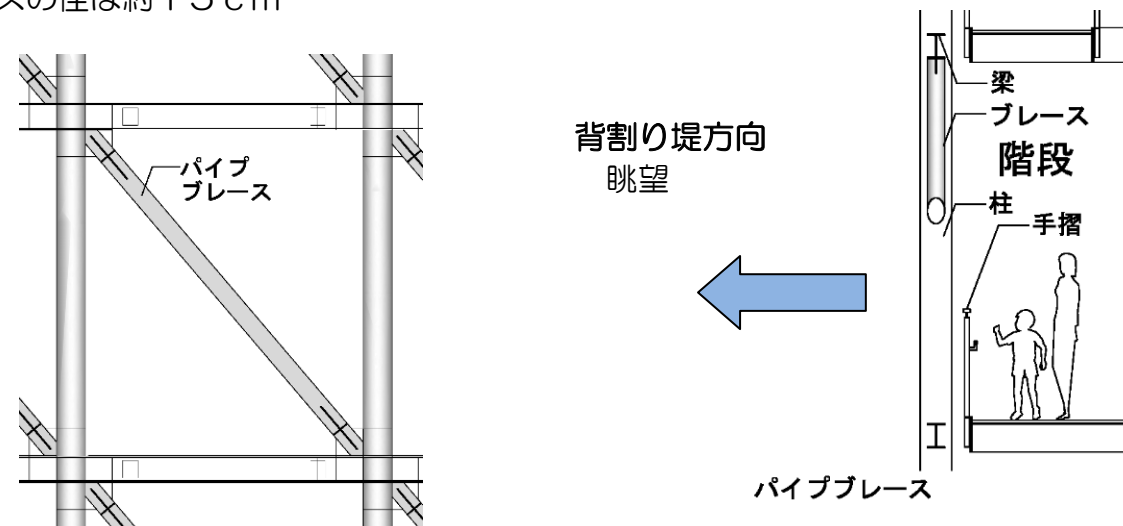
無駄のない形態・構造を追究し、構造フレームだけでシンプルに表現

【構造】

構造材ブレース（ななめ材）は丸パイプとし、一方向の流れに規則的に配置する。

【ディテール】

ブレースの径は約15cm



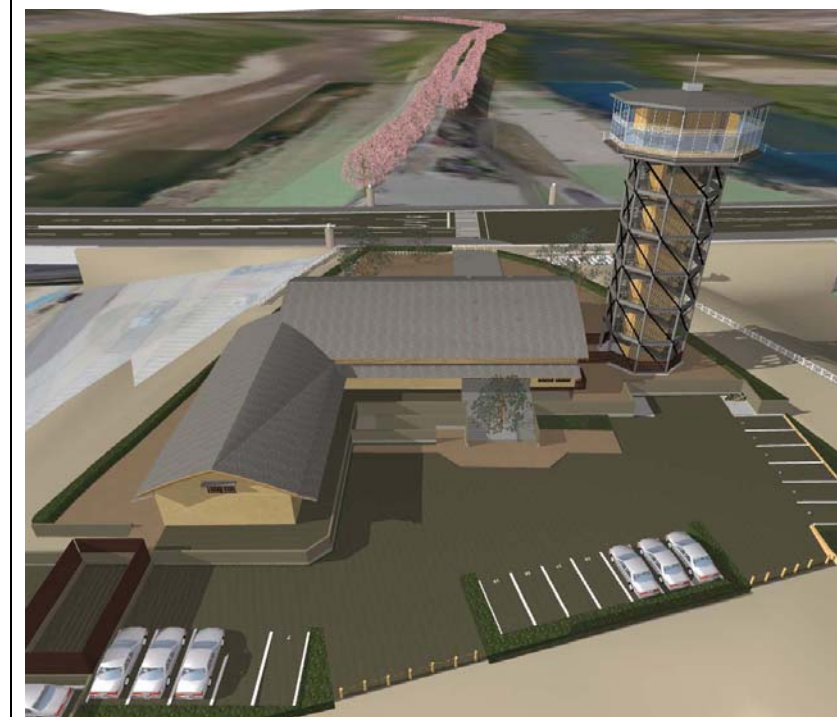
「正面から見上げ」

・階段を昇降しながら 360 度のパノラマ眺望が可能  
(化粧材を採用しないことにより眺望を妨げないシンプルなデザイン)

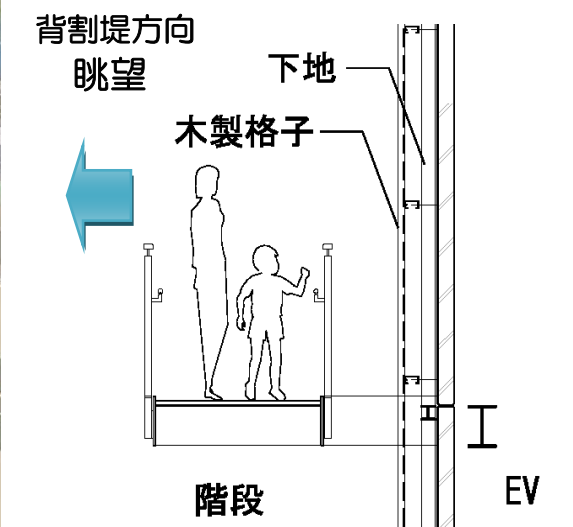
・展望塔の色彩は、管理棟の瓦屋根になじむように、光沢のない濃い灰色（黒系）の色彩とする。

【ディテール】

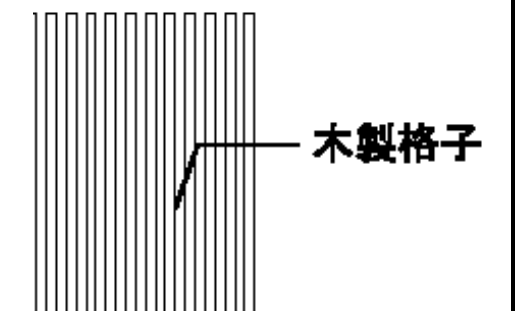
木製格子については、展望塔の階段及びエレベーターは人々を迎え入れるエントランスの意味から、千本格子をイメージした形状としました。  
(木製格子の巾は約 3cm)



「上空から鳥瞰」



「木津川御幸橋から」

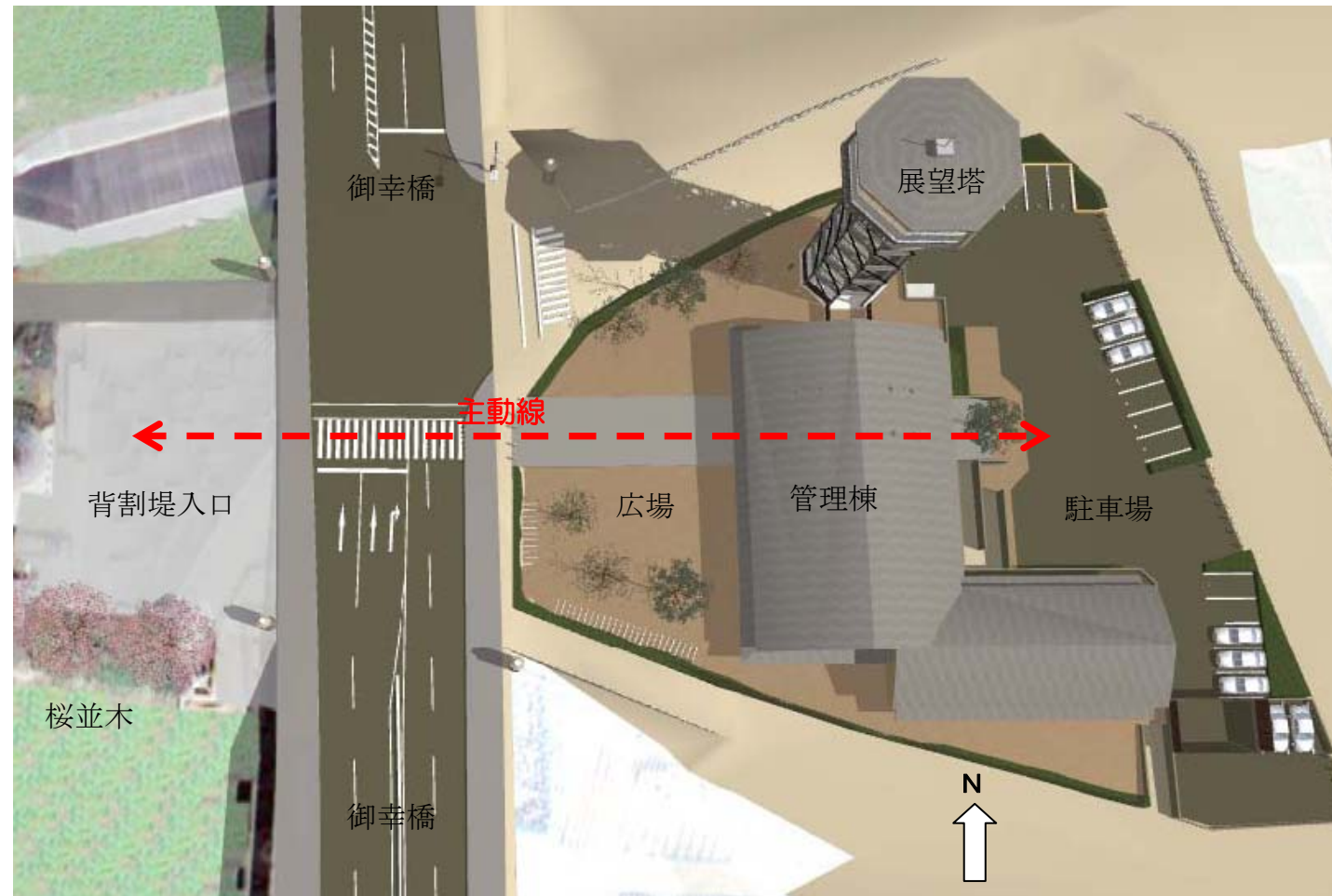




### 3. 管理棟の設計について

#### (1) デザインコンセプト

- 背割堤の桜のトンネルを抜けた正面からおもてなしをするため、『堤の軸線に対する平入り玄関』を採用
- 京都らしい和の木造建築の伝統を継承する『むくりの瓦屋根と切妻』を採用。



「鳥瞰パース」



「東面から」



「南面から」

#### 『外観デザインについて』

- 管理棟の外観は、歴史的旧街道筋に残る伝統的な「和風建築」を意匠形態の基本とした。
- 屋根は“むくり”を持たせた瓦の切妻とし、自然景観の中に優しく暖かみを感じる形態とした。
- 軒先側を玄関とする“平入り”形式とし、雁行する平面形態の軒先を揃え、建物四方の意匠を整えた。
- 計画建物は平屋建てであるが、壁面の質量感を抑えることの目的と、壁面の陰影による建物全体の質量緩衝として“下屋（げや）”を設け、“厨子二階（つしにかい）”の意匠形態とした。
- 建物正面は内部の独立と外部への開放など、機能性を有した町家造り様式の“紅殻格子（べんがらこうし）”をモチーフとした外壁とした。



「エントランス」

#### 『内観デザインについて』

- エントランスは、屋外広場（表）と駐車場（裏）をつなぐ通り抜け通路としている。
- 床は石畳調、壁は土壁調塗装、天井は屋根の小屋組木材を見せる大きな吹き抜け空間とし、屋根の一部のガラス瓦から自然光を採り入れる。
- エントランスは展望塔への玄関も兼ね、イベント時などは展望塔利用者の待機スペースとしての機能を持たせている。

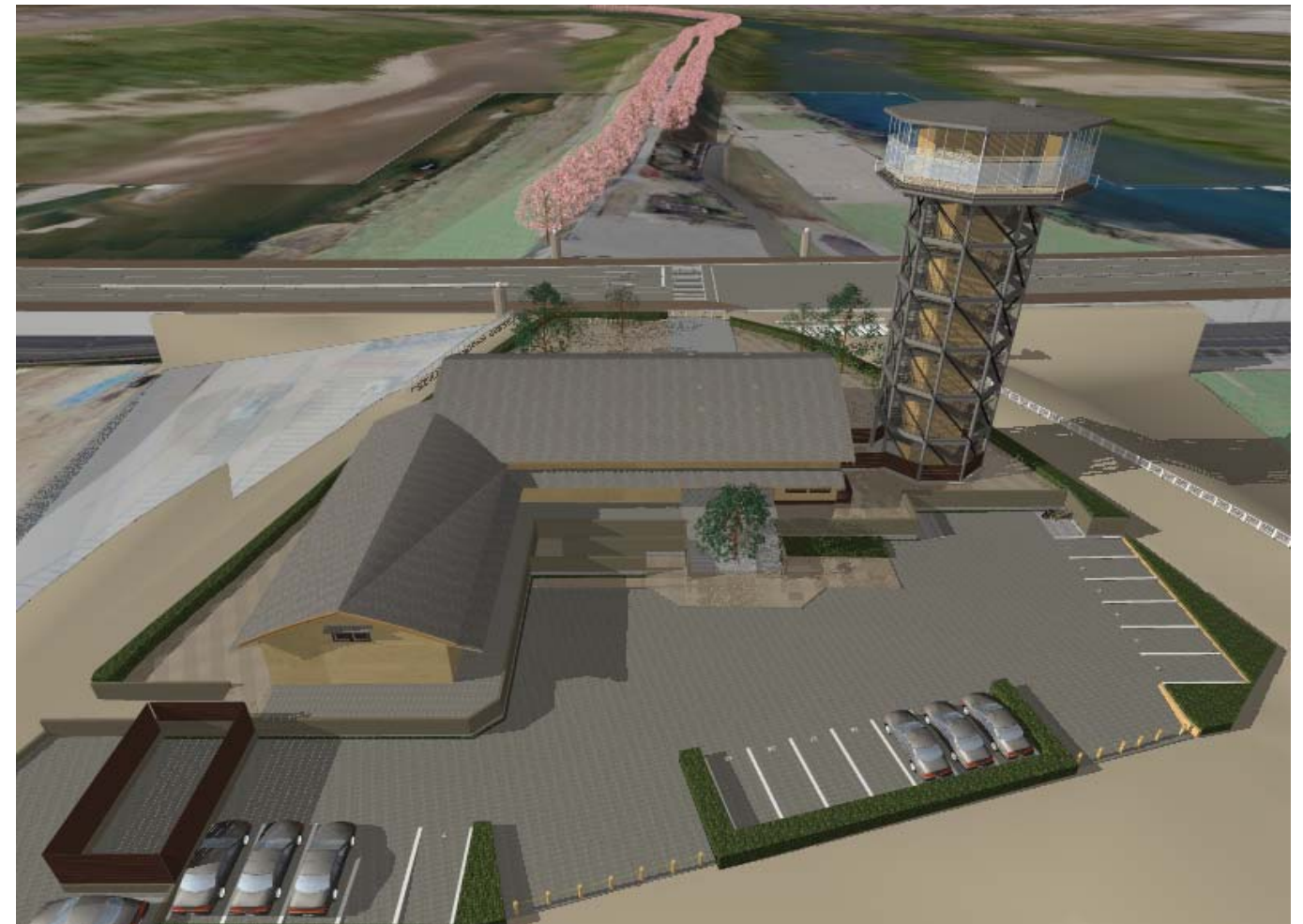


全体イメージパース及び計画工程

○西側背割堤より



○鳥観図(東側より)

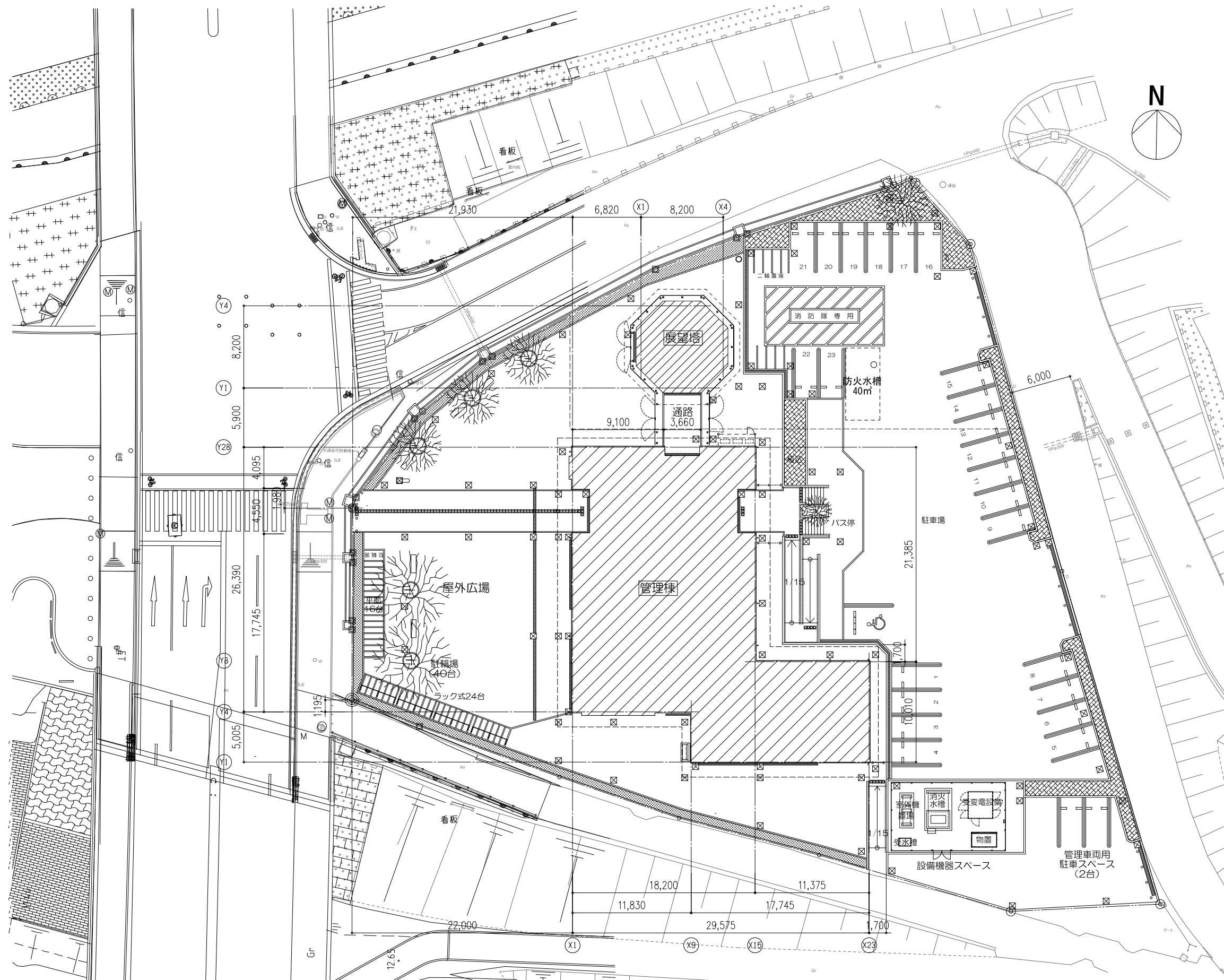


○御幸橋南側歩道より



三川合流域拠点施設新築工事(建築関係) 計画工程表

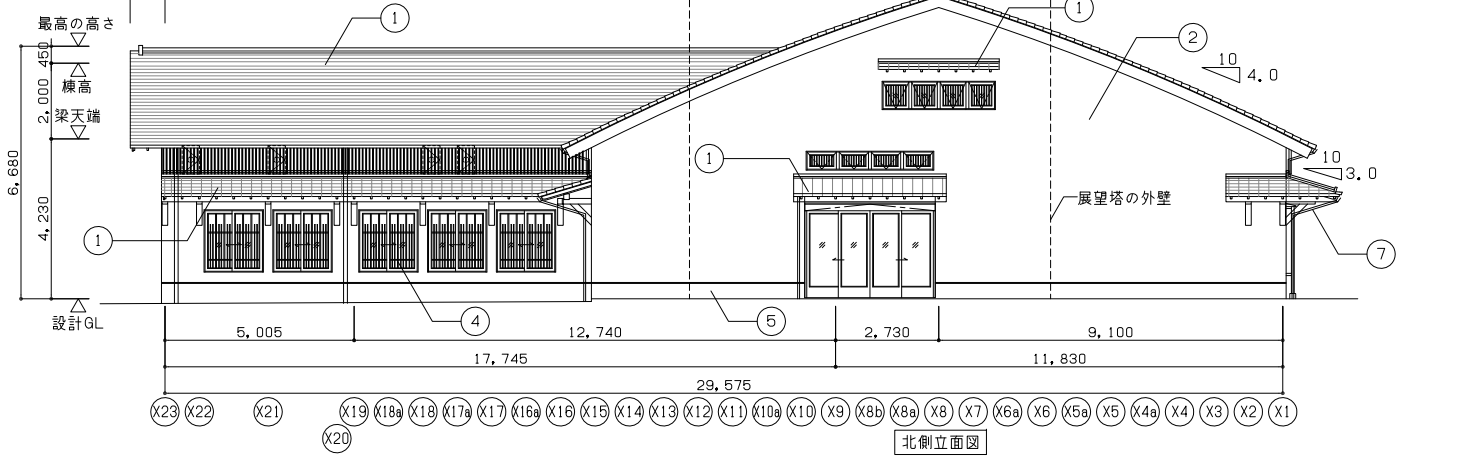
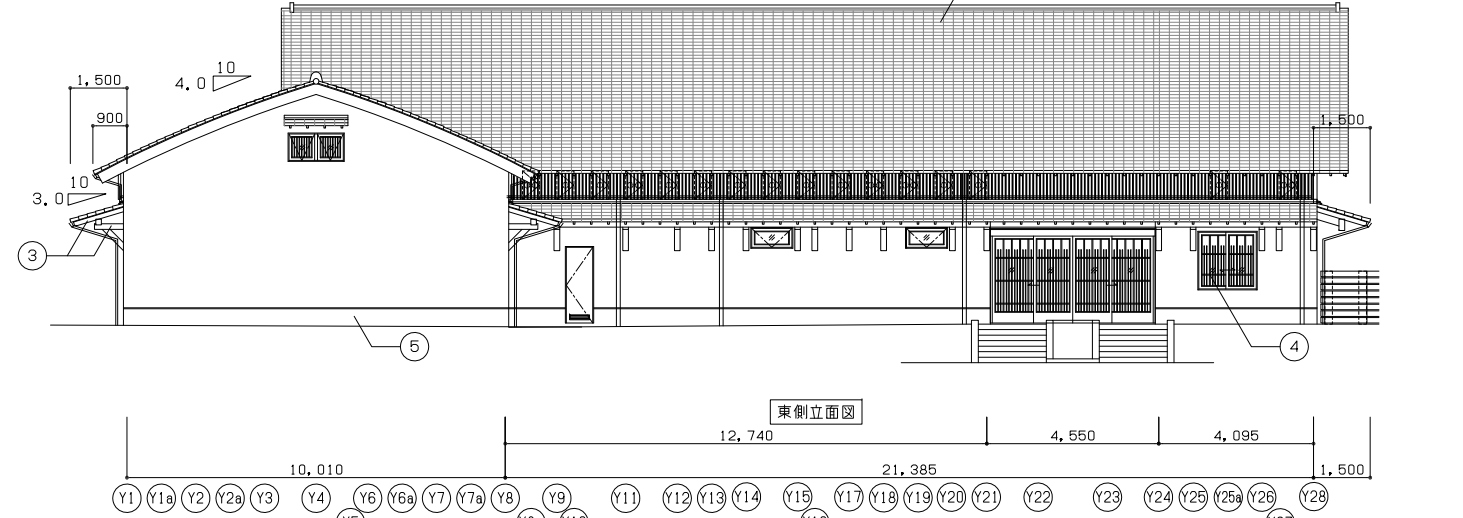
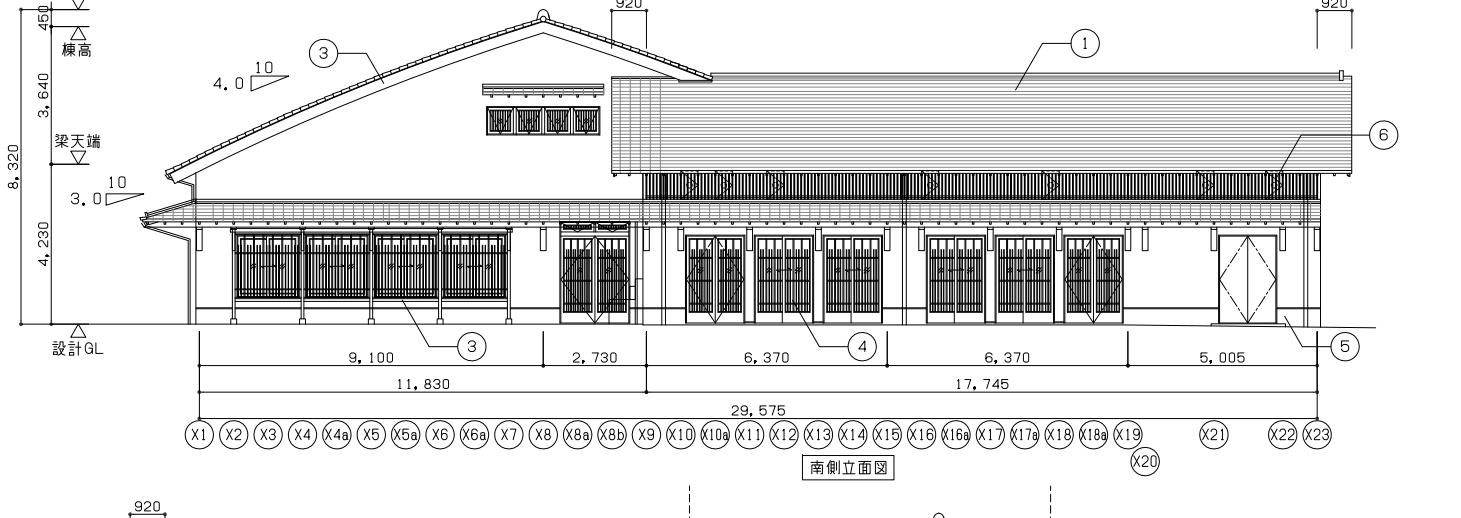
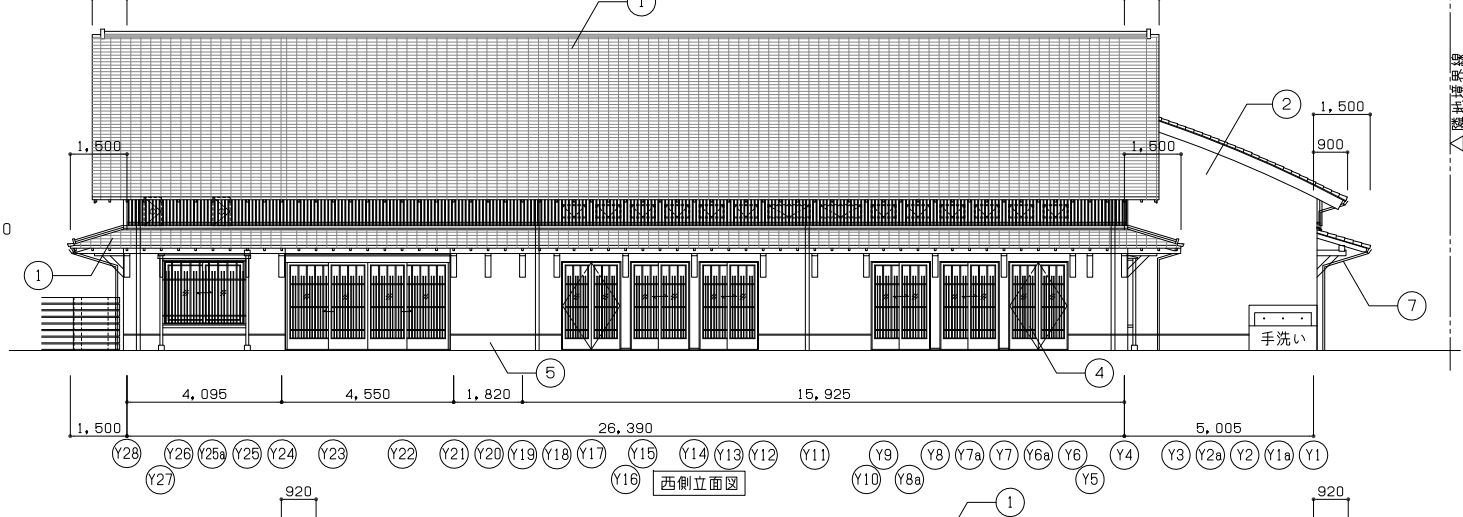
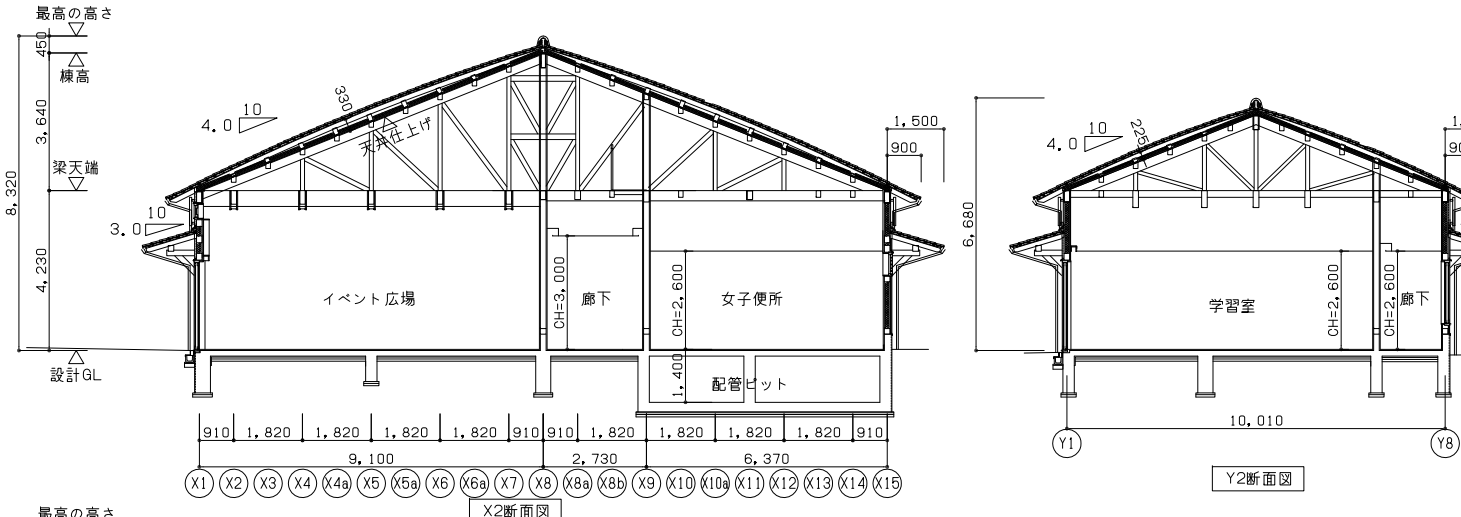
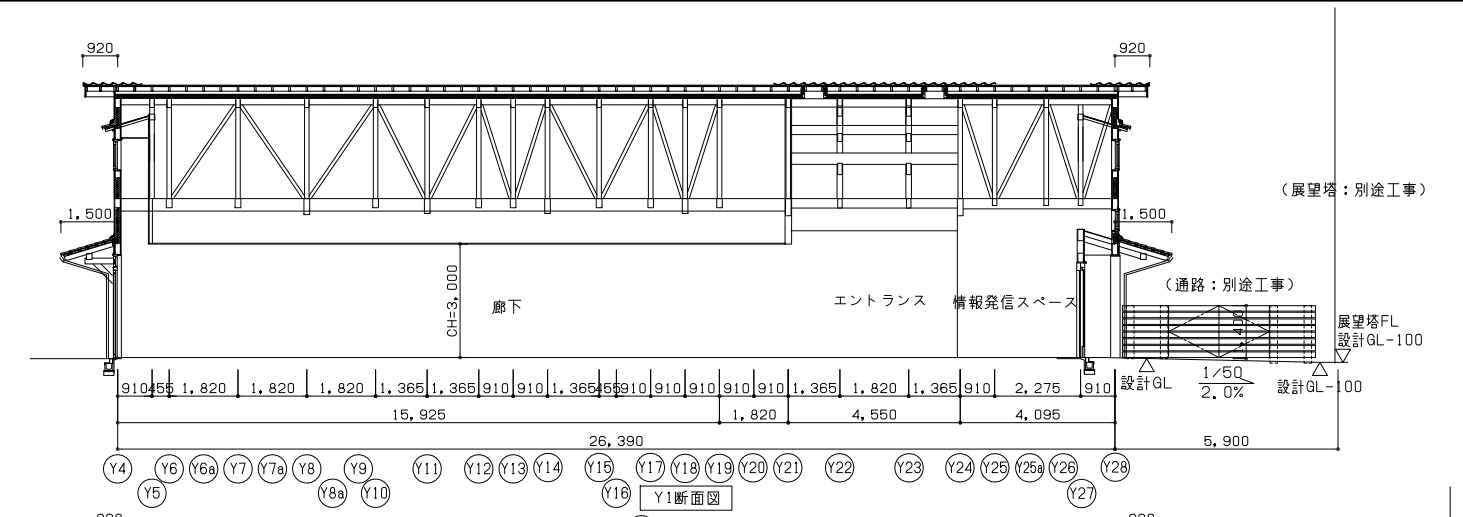
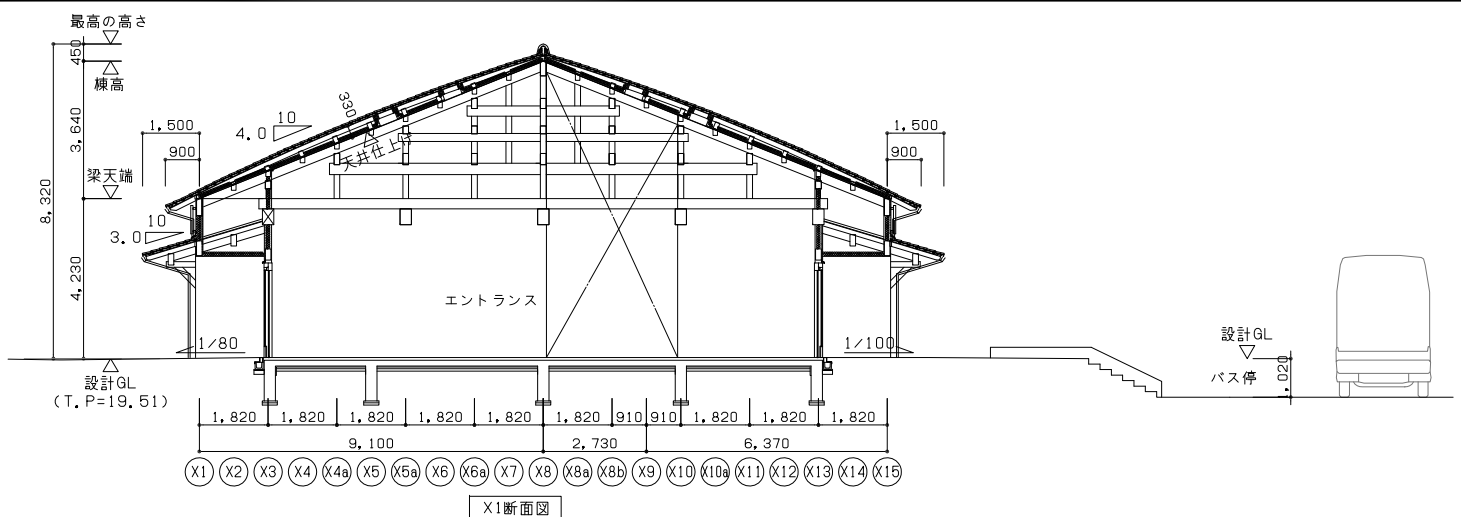
	平成28年度																		
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
管理棟新築工事	公告・開札	契約手続	工事(12ヶ月)															開園	
管理棟電気設備新設工事			公告・開札	契約手続	工事(11ヶ月)														
管理棟機械設備新設工事			公告・開札	契約手続	工事(11ヶ月)														
展望塔新築工事				公告・開札	契約手続	展望塔建築工事(9ヶ月)												外構工事	



平成27年度  
 第5回  
 三川合流域拠点施設検討委員会  
 平成27年12月9日





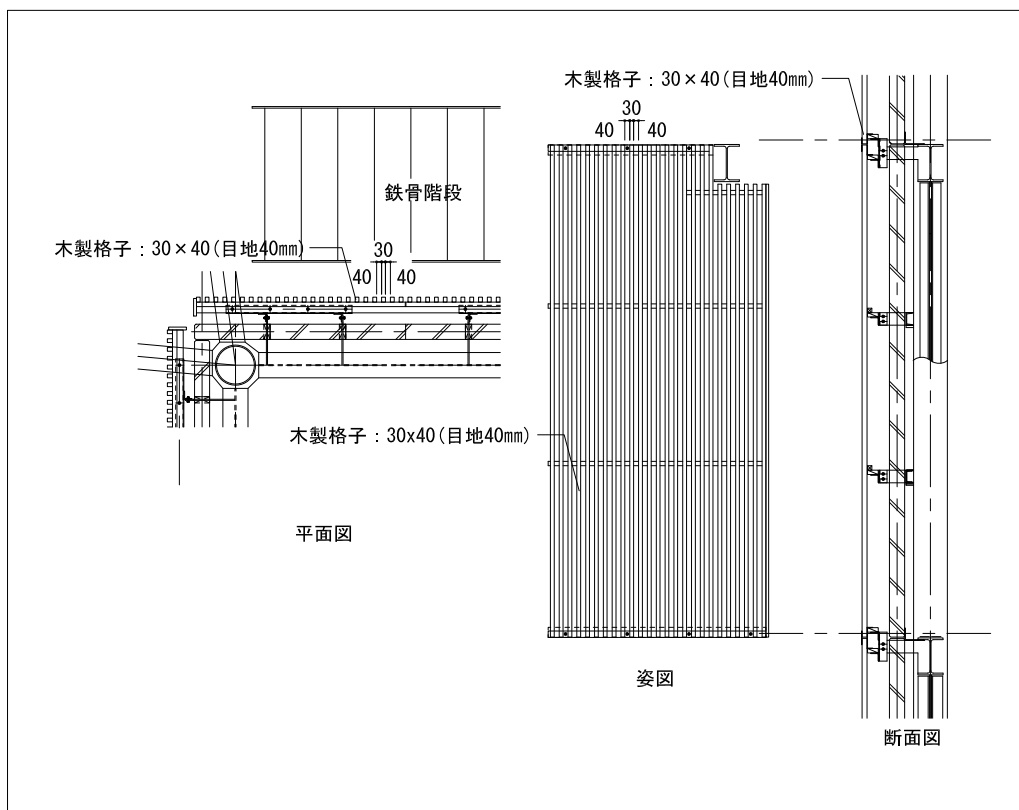
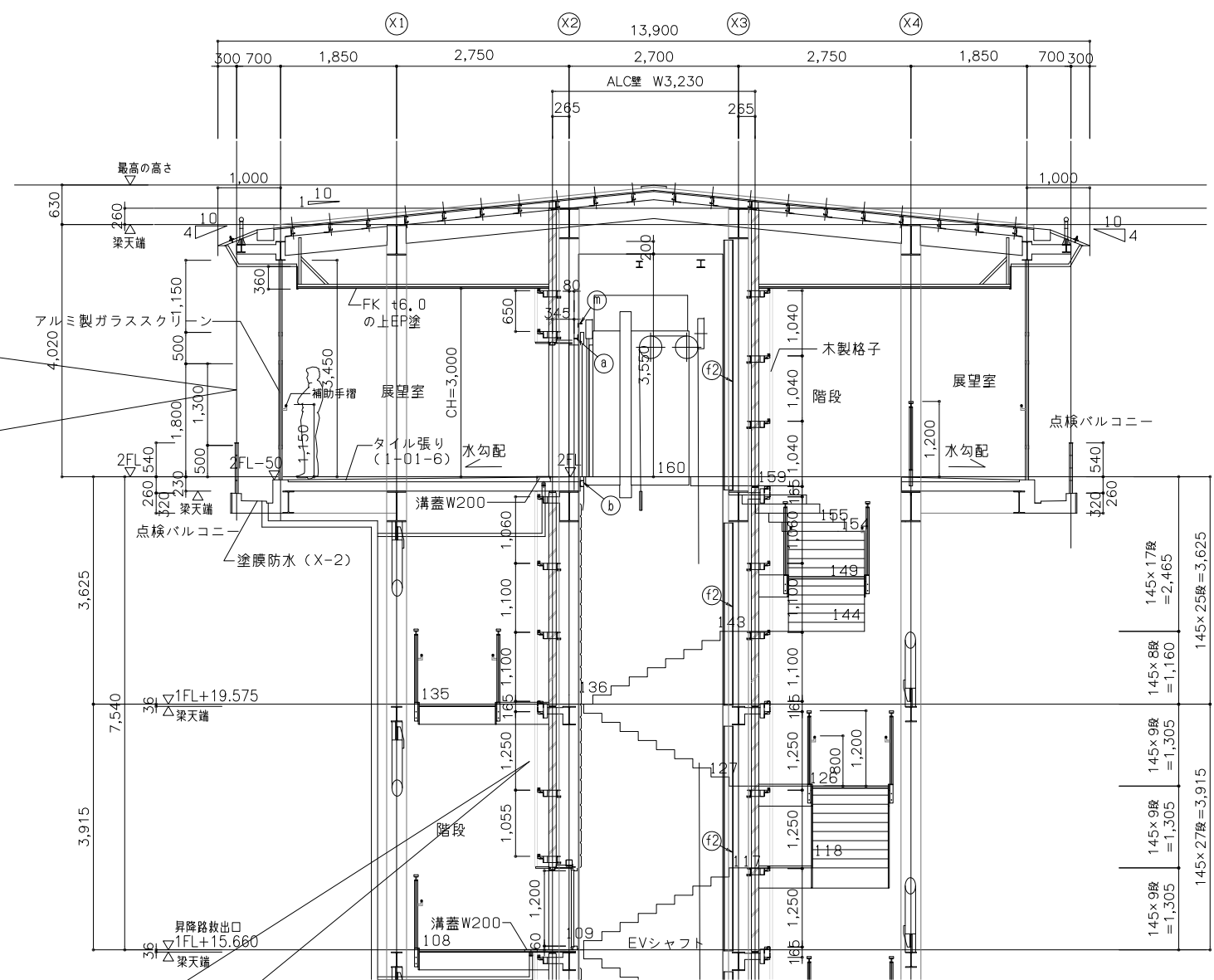
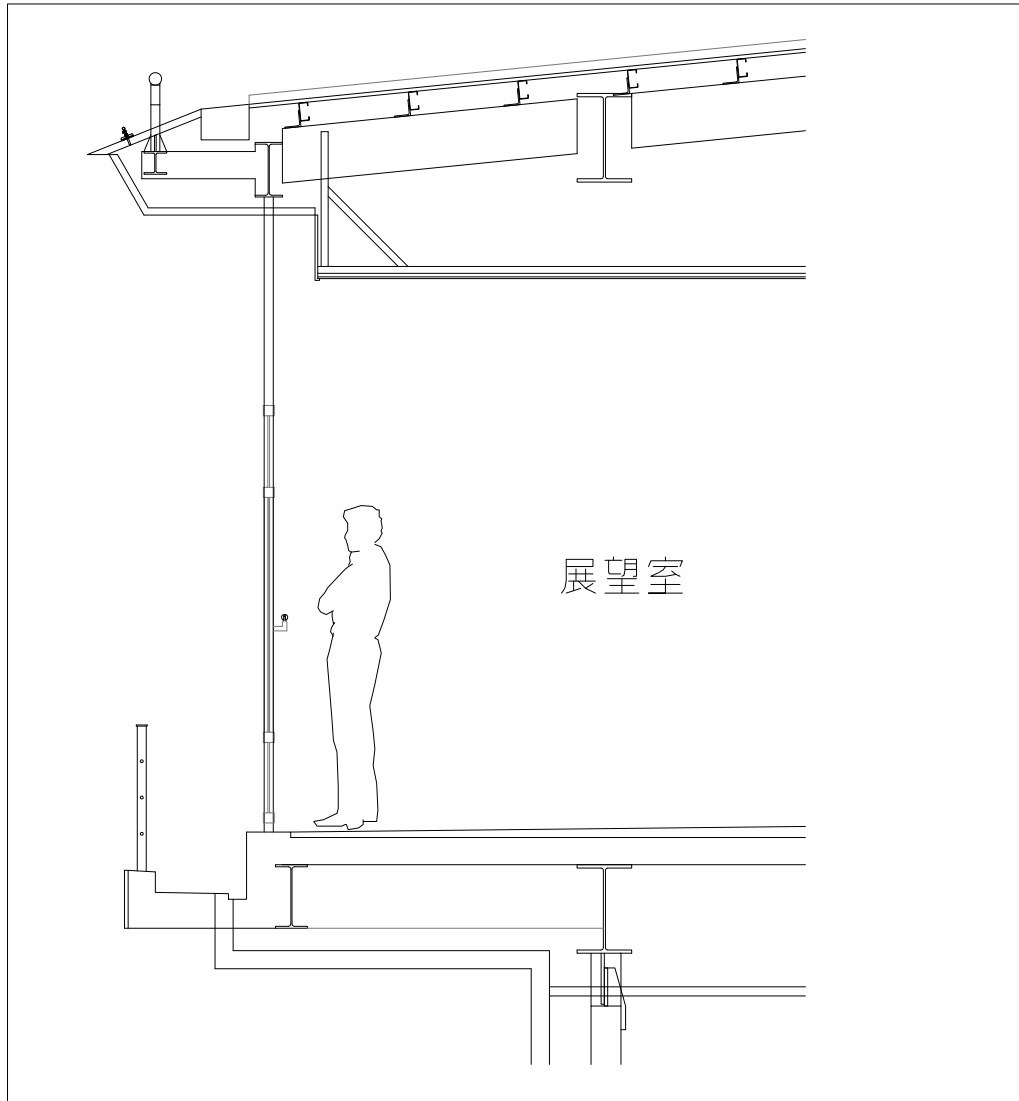


記号	仕上
①	屋根：粘土瓦葺
②	壁：塗材仕上A
③	木部：WP
④	建具：木製WP
⑤	巾木：コンクリート打放し(A種)DP
⑥	格子：換気ダクト部(可動)
⑦	たてとい：表面処理鋼板(耐候性樹脂被覆鋼板) 特記なき限り75Aとする

平成27年度  
第5回  
三川合流域拠点施設検討委員会  
平成27年12月9日







■展望塔の格子について

- ・展望塔の階段及びエレベーターは人々を迎え入れるエントランスの意味から千本格子をイメージした形状としました。
- ・格子部材断面寸法は、強度検討とコストバランスにより決定しました。  
(設置面の規模が大きく風の影響を受けるため、小さな部材にはできませんでした)
- ・ピッチは格子部材の奥行寸法と格子の空き寸法を同じ寸法とし、透け過ぎないようにしています。
- ・最終的な断面寸法やピッチについては、現場でモックアップを作成して検討し、決定していきます。

平成27年度  
第5回  
三川合流域拠点施設検討委員会  
平成27年12月9日